

「兄弟姉妹間の子育ての違いって？」

～男の子・女の子・兄弟の順番で特性も違うの？～

明照保育園 園長 中島 章裕

- 男の子らしく、女の子らしくは、死語。大切なのは、その子の特性！
(でも、男の子の特性、女の子の特性、兄弟別の特性には傾向がある)

- 見えない敵と戦う男の子と口から先に生まれる女の子。
→鉄男と鉄子(鉄道マニア)
→太陽に向かって走る男の子と地図が読めない女の子

- 男の子は「勝負・プライド・こだわり」 女の子は「会話・共感・同調」
→NASAの実験(人類火星移住計画)

- 兄弟姉妹構成は、子どもの性格を形成するうえで影響するの？
→カエルの子はカエル(遺伝)
→子どもは、親の思うようには育たない。親のやるように育つ！(環境)
→一卵性双子

- 第一子は、責任感が強くて神経質？(でも・・・)
「長子は初めての子どもなので、お母さんは不安や緊張感をもって子育てをしがち。そのため神経質になりやすく、その空気が子どもに伝わってしまうことも。また、下に弟や妹がいるぶん、「自分が見本にならなければ」という気持ち強い長男や長女。しっかり者で、だれかの世話をしたり、教えてあげるといったことも得意。しかし責任感が強い分、困ったことがあっても人になかなか頼れず、自分ひとりで抱え込んでしまったり、弟たちの責任も自分にあると考えて、必要以上のプレッシャーを抱えてしまう場合も。しっかりしているように見えるため、親はついついその強さに甘え、弟たちの面倒を任せてしまったり、「お兄ちゃんなんだから、お姉ちゃんなんだから」と我慢させることも。でも、実は長男や長女だって、甘えたい気持ちを抑えて気丈に頑張っているケースも多い。

- 第二子は、自由奔放な中間管理職？(でも・・・)
親も二人目であるせいか子育てに余裕ができ、第一子よりも子育てに神経質になることは少なくなる。その上、三人目が生まれると、親はどうしても手がかかる末っ子にばかり目を向けてしまいがち。そこで第二子は